



那覇市立教育研究所

所報第4号

平成21年7月15日

那覇市金城3-5-3

所長 池間生子

「授業研究」の質！

ワークショップ型の実践を通して

所長 池間生子

小学校の授業研究会は、全校体制で取り組むのが普通だが、中学校は教科単位で行うことが多い。同じ教科の教師が集う研究会は、教材研究が充実し、確かに大切である。

しかし、学校全体が高まるためには、各教科、各学年が一つのテーマに向かい、具体的かつ統一された手だてを持つことが最も大切ではないだろうか。

すべての教師が日々の授業でテーマを意識し、具体的な手だてを教科の特性の中で生かしていくことで、学校全体としての歩調が整い、児童生徒も学び方に統一感を持つことができるのではないだろうか。そういう中で児童生徒も教師も育っていくという相乗効果が生まれるのではないかと思う。

先日、小祿中学校で数学の授業をもとにした全体研究会に参加してもらった。初めての中学校、初めてのワークショップ型の研究会であったが、教科を超えて授業としての意見交換が活発に行われた。

「ノートの活用について」「板書の大切さについて」そして、授業仮説をもとに授業を参観するということ等、明日からの授業に生かせる内容を全職員で確認することができた。終了後のアンケートからはワークショップ型の研究会の課題等も明らかになった。改善できること、改善しなければならぬこと等をさらに吟味しながら各学校へ実践資料として提供できればと考えている。

「学校のテーマに迫るための具体的な手だてと教科の特性を生かす！」
視点を当ててみたい課題である。

研究員・検証授業

那覇市立真和志小学校 比嘉正人

「学習意欲を高め、数学的な思考力・表現力を育てる指導の工夫」
～学び合いを工夫した算数的活動を通して～

検証授業 4年2組「(L字型の)面積のもとめ方のくふう」



授業するにあたって、特に留意したことは、次の二点です。(授業仮説との関連)

- ① 導入場面において、考える視点を明確にする発問や指示により、課題を焦点化し、児童一人ひとりが目的意識をもって自力解決ができるようにすること。
- ② 学び合いの場面において、学習形態の工夫や友だちの考えを読み取る活動を取り入れることにより、考えの交流を活性化させ、数学的な思考力・表現力を高めること。

小学校算数授業改善支援チーム 中学校数学授業改善支援チーム

授業改善支援チームは、日頃の授業・公開授業等において、教材研究から支援していく準備をしています。小学校においては、現在小祿南小学校と連携しています。算数・数学で学習会を計画する際にはお気軽にご連絡下さい。

ワークショップ型授業研究会

6/15 (月) 城北小 5年 算数「小数+整数」 宮城彰子先生 上運天光先生



6/18 (木) 若狭小 5年 国語「情報を整理して書こう」 石川大悟先生



7/6 (月) 小祿中 2年 数学「連立方程式」 岩永泰良先生 宮國祐也先生



小祿中全職員参加の研究会

研究所では、授業研究会のサポートをしています。小学校・中学校、どの教科でも、ワークショップ型を試してみたい学校は、研究所(宮里)までご連絡ください。所長はじめ全指導主事でも対応していきたいと考えています。